

講義名	日本にきた子どもの困難さと可能性	講座担当者	市瀬智紀(宮城教育大学)
単位数	6	講義形式	講義、ワークショップ
実施日時	2019年7月14日(日) 10:30~16:10	実施会場	福島市中央学習センター ZOOM 及び録画による受講も可
講座の目標及び特に目指す受講者の知識・技能・態度			
講座の目標:外国人児童生徒の現状と課題、本事業が解決しようとしている課題の背景について理解する。 知識 ① 子どもたちが社会と関わりもち、キャリア(進学・就職、自己実現)を形成する上で、日本語の発達がどのような役割を果たすか理解している。 態度 ③ 複数の言語・文化をもつ家族の多様な事情を理解し、子どもに寄り添って支援をしようとする。			
講義内容			
1 インTRODクシヨン 著作権について/研修の進め方について 2 文化間移動 文化間移動とは/ウィリアム・マクマイケルさんの事例の紹介 3 エスニックコミュニティ エスニックコミュニティとは/エスニックコミュニティの生成モデル/エスニックコミュニティの役割/ 最近のエスニックコミュニティの変遷/ライフステージにあわせたエスニックコミュニティの課題 4 分散と集住 集住地域の事例/分散地域の特徴/外国人児童生徒が直面するさまざまな困難 5 多文化共生 多文化共生とは/EQUALITY, EQUITY, REALITY/移民国家と日本の政策等の比較 6 学校・地域・家庭の言語環境と言語使用 家庭の中での言語が日本語でないことによる子どもの日本語への影響/多文化家族の支援 7 アイデンティティ 二つまたは複数の文化の中での葛藤/アイデンティティの形成(発達段階に応じたものと個人差)/ 継承語の大切さ 8 異文化適応 異文化適応とは/異文化適応 U 字曲線 9 自文化中心主義・文化相対主義 自文化中心主義とは/日本語指導における自文化中心主義的態度/文化相対主義とは/ 多文化主義とは (ワークショップ) 10 社会参加、キャリア形成、ライフコース 外国出身の児童生徒のキャリア形成/外国出身の児童生徒を将来的に地域で包摂していくという視点 11 外国人児童生徒の困難さと今後の展望 (ワークショップ)			
成績評価方法			
講義への出席後または録画による講義の視聴後、課題を提出する。 他の講義と併せて、80%の出席と課題の達成度60%で修了証を授与する。 〔課題〕 (公財)宮城県国際化協会の「外国籍児童生徒サポート事例集多文化な子どもたちの未来をひらくために」 http://mia-miyagi.jp/pdf/kodomo_casestudy.pdf を読んで、 ①児童生徒の抱えている課題 ②有効な支援の方法 ③疑問点があれば疑問点 について、A4 紙 1 枚のレポートを提出。			
参考書			
○ 『外国人児童生徒の学びを創る授業実践 -「ことばと教科の力」を育む浜松の取り組み』 齋藤 ひろみ, 池上 摩希子他 ○ 外国人児童生徒受入れの手引き【改訂版】			

文部科学省、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

- 『学習力を育てる日本語 教案集 —外国人児童・生徒に学び方が伝わる授業実践』
とよなか JSL、田中 薫
- 『ことばが通じなくても大丈夫! 学級担任のための外国人児童生徒サポートマニュアル』
臼井 智美
- 『日本語を学ぶ/複言語で育つ-子どものことばを考えるワークブック』
川上郁雄